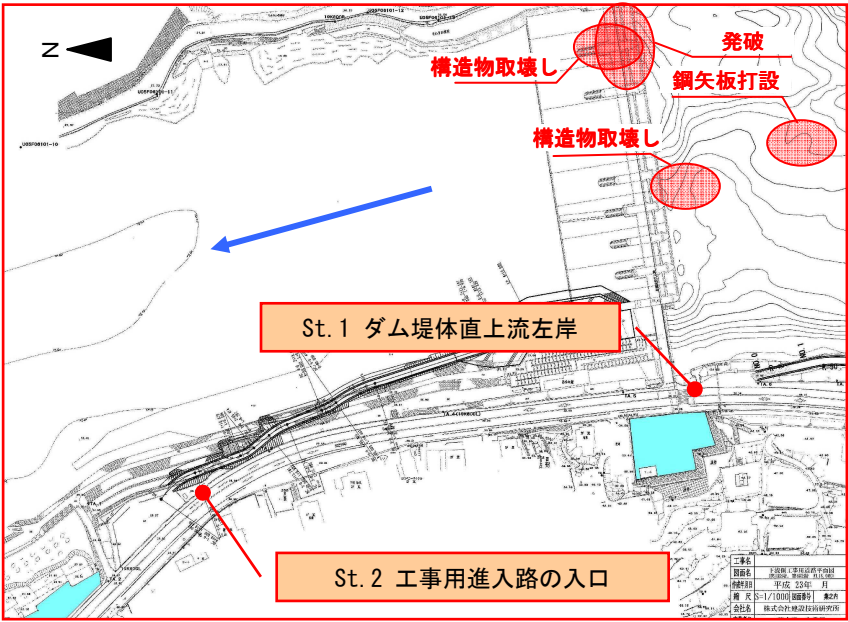


16) 騒音

【参考資料 I - 260 頁参照】

評価項目	視点	平成 25 年度の調査結果概要	評価概要
工事騒音の影響	・ 工事前後の比較 ・ 騒音規制法との照合 ・ 火薬学会規制値との照合	・ 環境騒音は工事施工前が平均 68dB(A)、工事施工中が平均 68dB(A) または 63dB(A)。 ・ 特定建設作業騒音(L5)は 60～77dB(A)。 ・ 発破騒音(ピーク値)は 75～95dB(A)。	・ 環境騒音は、工事施工前後で環境騒音に大きな変化は見られない。 ・ 特定建設作業騒音は、基準値 85dB(A)を下回る値であった。 ・ 発破騒音は、管理値 96dB(A)を僅かに下回る値であった。



調査実施日	調査対象		調査地点	備考
	環境騒音 (6:00～22:00)	建設騒音 (対象工種)		
H23.12.28	○	—	St.1、St.2	工事施工前
H24.3.15	○	—	St.1、St.2	工事施工前
H24.11.6	○	仮設工事	St.1、St.2	
H25.2.27	○	仮設工事	St.1、St.2	
H25.3.14	○	仮設工事	St.1、St.2	
H25.9.11	—	発破	St.1、St.2	試験施工
H25.11.8	○	鋼矢板打設	St.1、St.2	特定建設作業
H25.11.12	○	構造物取壊し	St.1、St.2	特定建設作業
H26.1.27	—	発破	St.1、St.2	
H26.1.31	—	発破	St.1、St.2	
H26.2.7	—	発破	St.1、St.2	
H26.2.10	—	発破	St.1、St.2	
H26.2.20	○	構造物取壊し 発破	St.1、St.2	特定建設作業

